

第14回

「雲石町の地域づくり活動」



小さなかまくらを見つめる



牧草ロールにイラストを描く



幻想的な雰囲気にもまれた会場



完成した牧草ロールアート

このコーナーでは、平成25年11月1日に友好都市提携を結んだ岩手県雲石町から、旬な情報を定期的にお届けします。



雲石町観光キャラクター「しずくちゃん」

雲石町では、人口減少に負けない地域をつくるため、地域の将来像を定めた4地区別「地域づくり計画」により、実践活動を進めています。
今回は、実践活動の中から、2地区の活動を紹介します。

○牧草ロールアート(西山地区)

昨年10月2日、牧草ロール(牧草を保存するため、丸く固めてラップで巻いたもの)に、子どもたちが赤・青・黄色などのペンキを使い、イラストなどを描きました。

これは、西山地区地域づくり会議のメンバーが中心となって実施している活動で、「地域との接点をつくるため、年代を超えた交流をしたい。牧草ロールに描いたイラストなどには、おもてなし・歓迎・挨拶などの意味があり、雪が積もった冬季にも映える色で、町を訪れる人を歓迎したい」という思いが込められています。

○雲石町雪灯り(雲石地区)

2月11日、世界アルペン記念公園で開催されたこの催しは、雲石地区地域づくり会議の有志で構成する「雲石雪灯りの日を作るチーム」が企画しました。

参加者が小さな「かまくら」をつくり、その中のキャンドルに火をとくと、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。また、会場内では町内産の食材でつくった「雲石スープレカレ」も振る舞われ、心も体も温まるイベントとなりました。

こちら編集室

毎朝、目覚めに大きなマグカップ3杯のお茶を飲んでく私のにとって、新茶の香り漂うこの季節は「富士市に生まれてよかった」と感じる季節です。4月中～下旬に市内各所のお茶畑では、美しい新芽が顔を出し始めます。大淵笹場や今宮といった、日

本を代表する「お茶と富士山」の風景は、富士市にとって大きな財産です。緑茶の消費量が減ってきていると言われて久しいですが、このすてきな風景を守るため、私も地元のお茶を購入し、微力ながら「富士のお茶」を応援していきたいと思っています。(松)

人口 254,203人 (前月比+369)
男 125,777人 (-116)
女 128,426人 (-253)
世帯 104,646世帯 (+145) 4月1日現在
編集・発行 総務部シティプロモーション課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123 〆0545-51-1456

お問い合わせは
富士市コールセンター
おしえて
コハルふじ
53-1111
【受付時間】
8:30～18:00
土・日曜日、祝日も受け付けます(年末年始除く)